

かすが



すべての子どもが 仲間とともに いきいきと学べる 春日小学校

**「学校いじめ防止基本方針」** ← 学校ブログに掲載しています

いじめは、「重大な**人権侵害事象**」です。

学校では、様々な場面において、子どもたちの「やった」「やられた」ということが起こっています。「やられた」側は「被害者」で、「やった」側が「加害者」ですが、**多くの場合において、一方的ではなく、お互いに「やった」「やられた」という関係性**です。だからこそ、大人（学校も、家庭も）は、子どもたちの言動に対して、敏感であることが大切です。かつ、子どもが発する「SOS」を、機を逃さずにキャッチし



人 KEN まもる 人 KEN あゆみ

て、話を聞いたり、状況を観察するなどの「丁寧な対応」が必要です。また、多くの子どもが自分にとって「都合の悪いこと」を、進んで話さないこともあります。中には、相手に「嫌な思いをさせた」と気づいていない場合もあります。だからこそ、「丁寧な対応」が必要なのです。

学校は、いじめ等の事案が起こった場合、この方針やマニュアルに従って対応します。いじめを受けた子どもを守るとともに、いじめをした子どもへの教育的な指導・支援を行います。いじめは、「いつでも、誰にでも起こりうる」ものです。昨日、被害と加害の関係だった者同士が、今日は反対の立場になっている場合もありますので、常に冷静に、平等に対応しています。何より、子どもたちが互いの「よさ」や「ちがいを知り、認め合う仲間・集団であることを大切にしています。保護者や地域の皆様においても、これらの点をふまえて対応いただくとともに、子どもたちの健全な育成をめざしてご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

**通級指導教室 と なかよし学級**

学級の仲間と一緒に学習活動に取り組むだけでなく、必要に応じて、別の教室で個別や少人数で取り組み、必要な力を身に付けることをめざす場が、通級指導教室やなかよし学級です。場に応じた言葉づかいや態度を学んだり、現在の学年より下の学年の学習内容を学んだりするなど、その子に応じて支援・指導します。お子さんの学校での様子や友だち、人とのかかわりなど、気になることがありましたら、本校には3人の**支援教育コーディネーター（なかよし学級担任2人と通級指導教室担当1人）**がおりますので、ご相談ください。（もちろん、学級担任の先生を窓口にしていただいてもかまいません。）ただし、**学級での学習を個別に指導する場ではありません**。詳しくは、「お子さまのよりよい学びの場に向けて（在校生用）」を確認してください。

子どもたちの居場所（＝社会）は、年齢とともに、どんどん広がっていきます。その中で、お子さん自身が「こまっていること」、また、保護者の皆様がお子さんに対して、「気になること」「こまっていること」は、はやい段階で対応していくことが大切だと思います。「できる」「できない」という結果だけでなく、「困り感」にどう向き合うのか、どうすれば、少しでも「困り感」が解消されるのか、学校と家庭（地域）が連携して、一緒に考えていきましょう。

**いつもピカピカで、「ありがとう！」が学校中にあふれる春日小学校**